三五グループ行動指針

発行 2025 年 4 月

CSR 委員会

社員コード

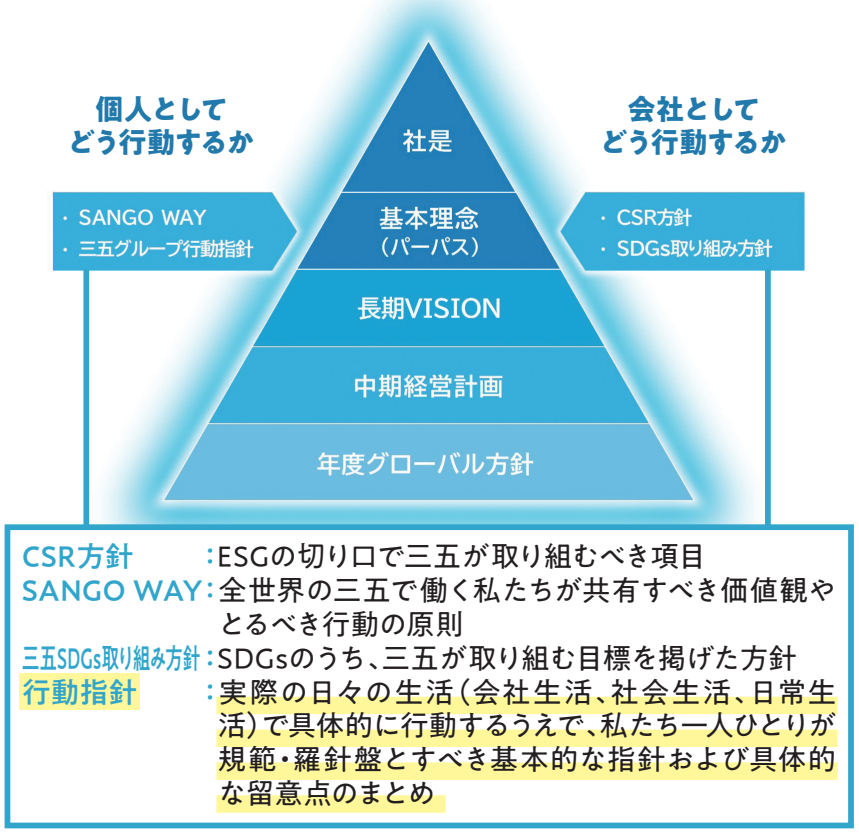
1. 三五グループ行動指針とは

1 三五グループ行動指針とは何か

実際に日々の生活（含、日常業務）・社会生活で具体的に行動する上で、私たち一人ひとりが規範・羅針盤とすべき基本的な指針及び具体的な留意点をまとめたものです。

2 社是、基本理念、SANGOWAY、CSR 方針と、三五グループ行動指針との関係

三五には、社是・基本理念・長期VISION・中期経営計画・年度グローバル方針があります。これら全体に関わるSANGOWAY・CSR 方針・三五グループ行動指針（以下、行動指針とする）が横から支えており、目標達成のための実施事項が設定されています。
これらの関係は右の図のとおりです。



ここにまとめた「三五グループ行動指針」は、国内外を問わず世界中で働く三五グループの従業員一人ひとりが、日々の会社生活・社会生活で具体的に行動するなかで、規範・羅針盤となるものです。日常の様々な場面でご活用ください。
併せて、三五グループは全員が安心して働き、生活ができるように、会社と従業員との誠実な対話と協議を通して、労使の「相互理解・相互信頼・相互責任」の価値観を共有します。

2. 誰が行動指針を守り、どのように用いるのか?

この行動指針は、国内外事業体、機能会社を含む三五グループで働く人全てに平等に適用され三五グループと協力関係にあるビジネスパートナーにも、同様の基準の遵守が期待されます。また、この行動指針は、社是、基本理念、長期VISION、中期経営計画、年度グローバル方針を実現するために何が適切な行動かを示しているので、毎日の仕事や活動の一部として用いなければなりません。

3. 行動指針を見てもどのような行動をとれば良いか分からないときは、どうするのか？

行動指針は、全ての行動を網羅しているわけではありません。
他にもある地域に適用される規則や慣習や所属する会社の社内規程もあります。
行動指針やその他の規程をみても、どのような行動をとれば良いか分からない場合は、次を参考にしてください。

A まずは、4つの質問を自分に投げかける

①少なすぎる情報で判断しようとしていませんか？

少ないならば、まずは、より多くの情報を集めてから判断しましょう。少しでも後悔しそうならば、なぜそのように思うのかよく考えて下さい。このような直感が重要な指針を与えてくれるかもしれません。

②自分の決断の正当性を上司に説明しなければならないとしたら、倫理的不安はないか？

もしも不安を感じたならば、倫理上問題があるかもしれません。その場合は、倫理的に正しい行動をとるようにしましょう。倫理的に正しい行動とは、人として守り行うべき行動で、モラルがある行動のことです。

③この状況を友人や家族に説明したら、どのような助言をくれるだろうか？

プライベートな関係にある人の多くは、三五とは直接関係がありません。しかし、親身になって正しい行為は何なのか教えてくれる人たちです。そのような人たちに相談したら、どのような助言をくれるか考えてみましょう。

④自分のこの状況がメディアに取上げられたら、どのように報道されるだろうか？

正しいか間違っているかだけでなく、三五を知らない人たちはどう感じ何を思うのかが重要になってきます。他者からどのように見られ判断されるのか自問することで、自分の状況を客観的に知ることができるでしょう。

B 自分自身に質問を問いかけても、わからない場合は、同僚、上司などに意見や助言を求めてみましょう。

4. もしも行動指針に反する行動（過ち）を犯すと、その人はどうなるのか?またどうすべきか?

三五グループは「過ち」には公正に対処します。
行動指針に反する行動をした人は、就業規則表彰懲罰規定により処罰を受ける可能性があります。自分が

違反した場合は、直ちに上司、ガバナンス部門、専門部署への連絡をしましょう。あるいは工場相談員、Sango ヘルプ☆らいん（内部通報相談窓口）へ報告して下さい。問題を話し合い、解決策を見つけ、改善します。

5. もしも行動指針に反する行動（過ち）を犯すと、会社はどうなるのか？

行動指針に反する行動（過ち）を犯した場合、三五グループがお客様やビジネスパートナーと築いた信頼関係が損なわれ、三五グループは社会全体の信頼を失う場合もあります。
また、その不正行為が違法行為に該当する場合、会社は訴訟を起こされたり、その結果罰金や損害賠償が課せられたりします。刑事罰もあり得ます。

6. もしも行動指針に反する行動（過ち）を発見した時はどうするのか？

発見した場合、報告が求められます。過ちを発見したら直ちに上司、ガバナンス部門、専門部署へ報告してください。
工場相談員や Sango ヘルプ☆らいん（内部通報相談窓口）に相談して助言を求めることも可能です。

- 三五グループは、不正行為やそれにあたると思われる行為を通報、相談した人、誠実に調査に協力する個人への差別や報復を容認しません。仮に、その通報や相談に関して十分な証拠が見つからず事実が確認できない場合も同様です。
- 寄せられた報告（情報）は内部通報制度運用規定に則り、通報者を保護します。

三五グループ行動指針の内容

1 人権尊重

わたしたちは、人権を尊重し、差別や表現に配慮します。また、節度ある宗教活動を理解し信仰の自由を尊重します。

人権尊重

私たちは、人権を尊重し、性別、年齢、国籍、人種、民族、信条、宗教、性的指向、性自認、身体的障害、配偶者や子の有無などによる不当な差別を行わず、児童労働、強制労働やハラスメント（性的・その他の嫌がらせ）等の人権侵害を許しません。

表現・用語への配慮

私たちは、日常何気なく使われている言葉の中にも、差別用語とみなされる言葉があることを理解し、誹謗・中傷、または社会的差別につながる、もしくは誤解を招く恐れのある表現・用語は使用しないように努めます。

節度ある宗教活動

私たちは、宗教活動は個人の自由であることを理解し、信仰の自由を尊重します。

公私の区別

政治活動と宗教活動は私的行為であり個人の自由ですが、会社の職務に支障をきたさないよう節度を守らなければいけません。社内に施設を設けている場合を除いては、原則として会社内ではこれらの活動は行いません。

2 法律・ルールの遵守

私たちは、三五グループの一員として社会的良識に則って行動し、法令や会社規程、方針を遵守し、自己の職務に専念します。

社会的良識に則った行動

私たちは、常に、社会的良識と遵法精神に則って行動します。反社会的な行為は、動機の如何を問わず、自ら行わず、また、それを許しません。

職務への専念

私たちは、自己の職務に専念し、誠実に遂行します。会社方針や就業規則などの会社規程等を、正しく理解し遵守します。公私のけじめはきちんとつけ、公私混同はしません。

三五グループの一員としての自覚

私たちは、「社是」「基本理念」及び「CSR 方針（社会に貢献し、信頼される、持続的に成長する企業へ）」等に示されている三五グループの精神をよく理解し、これに即して行動します。私たちは、三五グループの一員としての自覚を持ち、会社規程等で禁止されている事項、その他一切の不正・不誠実な行為を行いません。また、社内の秩序や風紀の維持に努めます。

遵法精神の醸成・良識ある行動

私たちは、職務上か否かを問わず、関連法規や会社規程を遵守し、規則違反行為や違法行為に関わりません。万一、それらの行為に遭遇したり、強要されたり、勧誘されたりした場合は、勇気をもって適切な対応をします。違法行為や会社規程違反行為に知らないうちに巻き込まれたり、関わってしまうことのないよう、基本的な法律知識を備えると共に、健全な社会常識と倫理感を持ち、良識ある行動に努めます。

法令遵守の推進

私たちは、会社の関係者（取引先など含む）か否かに関わらず、他人の違法行為を許さず、正義感を持ち、違法行為に対しては相談窓口などに相談をするなど適切に対処します。日頃から社内及び取引先などにも法令遵守の徹底を呼びかけます。

安全

私たちは、安全性を検討する場合、関係各国の安全基準をしっかり把握すると共に、総合的見地から、より高い安全性の確保に努めます。

環境

私たちは、環境保全に関する全ての法律・条例・規則・協定を遵守します。万一、環境悪化や汚染が発生した場合には、直ちに適切な対応をとります。

研究開発

私たちは、関係する全ての法令やガイドラインを遵守して、製品研究開発を実施します。
また、他社との共同研究開発をする場合、関係する契約に記載されている秘密保持義務などを遵守します。

営業

私たちは、複数の競合他社又は業界団体の構成会社と相互に連絡を取り合い、本来自主的に決定すべき商品の価格や販売・生産数量などを共同で取り決める行為、カルテルを行いません。

調達

私たちは、三五の優越的地位を利用して、取引条件の受諾やノウハウの開示などを調達先に強要したり、特定業者の排除を試みるようなことはしません。
私たちは、仕入先が社会的責任を果たすことを推進し、以下の行為をさせません。

- 独占禁止法に違反する行為：優越的地位の濫用、拘束条件付取引など
- 下請法に違反する行為：発注書面不交付、不当値引、不当返品、支払遅延など
- 調達先から社会通念を越える個人的利益（贈答・接待）を得る（または提供する）など
- インサイダー取引に該当する行為：仕入先の内部（機密）情報を不正に利用した株式売買

生産・物流

私たちは、生産・物流に関する法令・基準を遵守します。

- 正当な理由なしの、納入品の受領・検収拒否や、検収済の納入品返品
- 発注者・買手の地位を濫用した、取引先への無理な要求や、取引先からの過剰な接待等を受けたりすること

国際・地域ルールの尊重

私たちは、国内の法律・ルールの遵守に心がけるのはもちろんのこと、海外や国際的な法令を遵守します。なお、国内外を問わず、特に公務員に対する贈賄は各国で厳しく罰せられます。
私たちは、贈収賄や過度な贈答・接待に関与しません。

適正な資金利用・経費処理

私たちは、各種プロジェクトへの投資・経費の支出に際しては、所定の決裁基準・ルールと手続きを守り、複数人によるチェックを確実に行うことにより、不適切・不正な投資・支払・使用を防止します。特に、個人・担当部署単独での決裁は絶対に行いません。

社会的信頼の維持

私たちが、法令違反または不正行為（粉飾決算、品質偽装など）を行えば、法的制裁のみならず社会的制裁を受け、永年培ってきた名声や信用を失うこととなります。
私たちは、一人ひとりが倫理観・遵法精神を持ち、社会的良識に沿った行動をとります。

政治献金

私たちは、贈賄・不正な利益供与や違法な政治献金はもちろん、政治・行政との癒着というような誤解を招きかねない行為は、一切行いません。会社名での政治献金・寄付等は、各国の法律・慣習を尊重し、慎重に判断した上で、社内の承認手続きに従い、正規の方法に則って行うものとします。

節度ある儀礼・交際

私たちは、政治・行政の関係者と付き合う場合、関係法令に留意すると共に、慣行的なものであっても、事前にその妥当性を十分に検討します。

反社会的勢力等への対応

私たちは、反社会的勢力・団体による組織暴力や犯罪行為に対しては、直ちに上司もしくは関係部署、Sango ヘルプ☆らいん（内部通報相談窓口）に相談し、組織として毅然とした対応をとります。

3 安全衛生

私たちは、日頃からより良い生活習慣を心掛け、心身の健康増進・疾病予防に努め、誰もが安心・安全で快適に働けるよう、安全確保を最優先します。
また、交通ルールを遵守し、思いやりのある運転を心がけます。

安全・健康の確保

私たちは、日頃からより良い生活習慣を心掛け、心身の健康増進・疾病予防に努めます。
また、誰もが安心・安全で快適に働けるよう、安全確保を最優先し、万一、災害が発生した場合は、直ちに救助し、安全措置を行い、適切な手続きを確実に実施します。

安全な製品づくり

私たちは、基礎研究段階を含め、開発企画から設計・評価・製造・検査・物流の各ステップにおいて、安全性への細心の配慮を行います。

安全で健康的な作業

私たちは、「安全は何よりも優先すべき大切な価値、全ての活動の基盤。健康な心と体づくり、安全な作業、安心安全な職場 / 環境づくりに務める。」という安全衛生基本理念のもと、職務遂行に際して、労働関係法令や社内諸規則を遵守し、全員で安全で快適な職場づくりに努めます。また、事故・災害・職業性

疾病の未然防止に努め、万一、発生した場合には、直ちに作業を中止し、救助・安全確保および適切な報告を行うと共に、原因を徹底的に洗い出し、本質的な再発防止策を講じます。

交通ルールの遵守

私たちは、自動車関連会社の一員であり、社会の模範となるドライバーになるという認識を常に持ち、シートベルトを着用し、スピードは控え目に、そして交通ルールを遵守して、事故を起こさず、また巻き込まれないように努めなければなりません。運転中の携帯電話の使用や飲酒運転・酒気帯び運転は行いません。

思いやりのある運転

私たちは、交通事故の防止だけでなく、歩行者を含め、譲り合いに努め、交通マナーを守った思いやりのある優しい運転を心掛けます。

機敏な処置

私たちは、万一、交通事故に遭遇したときは、機敏な処置を取ります。

取るべき処置の例

- 負傷者の救助　※ただし海外ではこれに限らない場合もある
- 救急車と警察への連絡
- 保険会社・会社への報告

4 会社資産の保護

私たちは、会社の資産、知的財産を保護し、第三者の知的財産に関してはその権利を侵害しません。

会社資産の保護

私たちは、会社資産の取り扱いに関する規則に従います。社内規程違反や違法行為を見つけたときは、直ちに上司もしくは関連部署、Sango ヘルプ☆らいん（内部通報相談窓口）に連絡します。

有形資産（事務機器や工具、部品など）の保護

私たちは、会社の有形資産を、三五グループの事業活動または社内の承認を得た目的以外には、使用しません。また、紛失・盗難等を防ぐため、持ち出し方法等の有形資産の取扱いについては、定められたルールを遵守します。他社や個人が所有しているパソコン等は、社内の承認を得ずに持ち込みません。

三五の知的財産の保護

私たちが職務を通じて得た発明・考案・意匠・商標・著作等に関する知的財産権や営業秘密・ノウハウその他一切に関する権利は全て会社に帰属していることを理解します。

第三者の知的財産の尊重

私たちは、第三者の特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産の不正使用やソフトウェア・書籍の不正コピー等の権利侵害を一切行いません。もし、第三者の知的財産を利用する必要がある場合は、許可を得たうえでその利用権の範囲で利用します。

5 情報の適正管理と公開の透明性、説明責任

私たちは、お客様情報や個人情報の取扱いに細心の注意を払い、適正に保護するとともに、お客さま、他の従業員、地域社会等の関係者に対し、企業活動に係る情報を公正性と透明性をもって、適時・適切に開示します。

個人情報の保護

私たちは、全ての個人情報を適正に取扱います。お客様や取引先などにかかる個人情報は、全て正当な方法によってのみ入手すると共に、入手した情報は厳重に管理し、適正な範囲で利用し、保護します。

三五の機密情報の保護

私たちは、機密情報管理に関する社内規則を遵守し、機密情報をＥメールや SNS、LINE 等で外部、社外に発信しない等機密の流出防止に努めるとともに、規則違反・違法行為者を見つけたら直ちに上司もしくは関係部署、Sango ヘルプ☆らいん（内部通報相談窓口）に連絡します。また、退職後も在職中に知り得た職務上の機密を漏らしません。

漏洩防止の例

- 部外者がいる場所（列車内や飲食店など）での会話において、機密事項を話題にしない。
- パソコン等のパスワードの管理・ウィルスなどの定期的なチェックの実施（特に、社外からのソフトウェア・データは必ず利用前にウィルス・チェックを実施）

他社情報の保護

私たちは、他社の機密情報を入手する場合、正当な権限者から正当な方法により入手します。また、入手した他社情報は、利用範囲その他の条件を確認し、その範囲内においてのみ使用し、機密を保持し、他社の権利を侵害しないよう留意します。

内部情報の機密保持

私たちは、職務遂行上必要な場合を除き、家族を含め社内外の誰に対しても、会社の情報・関係会社・取引先会社の内部情報を伝えません。

情報管理の徹底

私たちは、三五グループの重要資産である企業機密情報については、入手・利用・開示に際して適正な管理に努めます。お客様・関係先・従業員の個人情報については、法令に従い適切な手段による入手・管理および適切な利用に万全を期します。また、インターネット・新聞・雑誌、諸文献等の外部から入手した情報については、盗用・改ざん・著作権侵害などの問題が起きないよう、取り扱いには必要な注意を払います。

6 公平・公正な関係

私たちは、お客様、仕入先様と公平・公正な取引に努めるとともに、強固な信頼関係を築き、共存共栄を図っていきます。

誠実な取引態度

私たちは、三五の代表であるとの自覚のもと、調達の基本方針を念頭において、誠意をもって公正に調達先と接します。

行政への要望行政指導への対応

私たちは、行政への要望に当っては、適正な方法により、合理的な内容の要望を行い、その実現に努め、一方で、不明瞭な行政指導を受けたときは、所定の手続きに基づき、その責任者・内容の書面化を請求し、毅然とした態度で対処します。

7 環境保護と社会貢献活動

わたしたちは、脱炭素社会の実現に向け環境に配慮した製品を開発し、あわせてリサイクル・省資源・省エネルギーの推進に努めるとともに、自然環境の保全と地域社会への貢献を会社一体となって行動します。

環境への配慮

私たちは、脱炭素社会の実現に向け三五の一員として、開発／設計・生産・物流活動はもちろんのこと、事業活動のすべての領域において、一人ひとりが環境への影響に配慮し積極的に取り組みます。

社会の一員として

私たちは、循環型社会の一翼をにない、省資源・省エネルギー活動に努めると共に、美化･緑化活動等に積極的に取り組みます。

積極的な社会貢献活動

一市民としての積極的な地域社会への参画やボランティア活動が、社会のためになるとともに、私たち自身の成長にもつながります。私たちはそれぞれの立場や問題意識に応じて、ボランティア活動などの社会貢献活動に参加し、より良い社会づくりに貢献します。

災害時の地域貢献

私たちは、社会の一員として、災害発生時等の社会的危機状況下において地域復興のための復旧・支援活動に積極的に参加します。

8 各国の文化・慣習を尊重した運営

私たちは、各国で事業を行うにあたり、各地域の文化や慣習を尊重し、地域の発展に貢献します。

各国の文化・慣習の尊重

私たちは、研究開発・調達・生産・物流・販売・サービスといったあらゆる活動に関して、国際ルールと地域ルールが存在することを認識し、且つそれらを遵守すると共に、現地の文化・慣習・歴史の尊重はもちろん、国民・住民感情にも配慮します。

契約の遵守

私たちは、重要法令について十分に理解し、事業に関連する契約の内容を把握しておかなければなりません。これらの遵守こそ、オープンでフェアな事業活動の第一歩であり、ビジネスパートナー・仕入先・お客様等との信頼関係の基礎となると考えます。